

避難所生活 何が課題？

岐阜市岩地区住民、体育館で訓練



宿泊を伴う防災訓練で住民たちが設置した簡易テントが並ぶ会場＝岐阜市岩滝西、岩小学校体育館

避難所での生活になる場合を想定して体育館に1泊する体験を盛り込んだ防災訓練が、岐阜市岩滝西の岩小学校で開かれた。市によると、住民が主導して宿泊を伴った訓練をする事例はまだ珍しいという。岩地区の住民たちが簡易テントを広げ、実践を通じて備えについて考えた。(山田俊介)

住民らでつくる岩自主防災隊と岩まちづくり協議会が、市都市防災部の協力で実施した。同地区では防災倉庫に簡易テントを約70張り備えているが、これまで

「簡易テント底冷え」「子どもの行動心配」

が参加、約半数が宿泊した。非常食の夕食を済ませた後、参加者たちは食料を定期的消費し減った分を買い足す「ローリングストック」方式や簡易トイレの使い方などを学び、能登半島地震の被災地に派遣された市職員の講話を聞いた。互いに協力しながらテントを設営し、一夜を明かした。翌朝、意見交換会も行い「テントの床に敷くシートが薄く底冷えがした」「テントは4張りをひとつかたまりにして固定すると安定する」といった、体験による気づきが次々と挙がった。訓練には7人の小学生も参加し、保護者からは「子どもも食べられる非常食を考えるといい」といった意見や「キャンプ気分が騒がしく申し訳なかった。実際に避難所生活が続くと、子どもの行動に不満を持つ人もいるのでは」と心配になった」といった声もあった。

市岩自治会連合会の横山克徳会長は「実際に災害が起きた時に生かせる訓練の必要性を感じている。来年度以降も住民の意識を高めたい」と話した。

原菜穂子議員(にしいろ) 体のため市学校施設長寿命... 寺町茂議員(無会派)が



川島大橋の工事見学 岐阜工高生

各務原市川島松原町で5日、工事現場見学会が開かれ、岐阜工業高校(笠松町)土木工学科2年生18人が理解を深めた。



「丁張り」を行う際の測量を体験する生徒たち＝各務原市川島松原町

2021年5月に大雨の影響で橋脚が傾いた川島大橋の新橋を架ける工事現場。見学会を開いた松野組(瑞穂市)は新橋南側の県道と市道の改良工事、左岸の護岸工事を行っている。生徒は新橋を造ることになった経緯や工事概要の説明を受けた後、4グループに分かれて、建造物を造る際の高さや位置の目印となる木くいを設ける作業「丁張り」の測量やドローンの操作など四つの体験に順に

時には全国農業共済組合連合会が推奨する収入保険を紹介したい」と述べた。高橋時男議員(自民結いの風)は利用されていない市の施設について尋ねた。村澤勲総務部長は「施設機能の移転や廃止に伴って未

尾龍也(同)、片岡孝一(同)、澤村均(共産)の5議員も登壇した。一般質問は6日も行われる。(織部俊太郎) 羽島市議会 15議員登壇 11日から一般質問 羽島市議会の定例会の一般質問の通告が締め切り、15議員の登壇が決まった。一般質問は11・13日。(安井真由子) 各務原市議 表・一般質問 切られ、10議

支援学校 各務原市 ジーテック 電気工事業(各務原市)と各務原市が建に開校予定の「ら支援学校」7万円を寄付 発行手数料に充てる同行「SDGs私るころ」 同社の下村 鶴沼支店の横が市役所を訪市長と面会しは「地域によてうれしい。子育てに貢献 山支店長は「子どもたちが各